

科学技術外交推進会議 「科学技術力の基盤強化」に係る提言(概要)

【背景】① 科学技術外交の推進上、卓越した科学技術力を有することが最重要要素の一つ。

② 現状の様々な指標：我が国の科学技術の基盤のゆらぎ、国際的な地位の低下。

【ポイント】科学技術力の源泉も科学技術外交の原動力も、最終的には人材。

⇒ 「人への投資」を進め、高度人材が産学官セクター間や国内外で循環しネットワーク化して活躍可能にするため、国内政策・外交政策の戦略的・統一的推進が必要！

産学官で進めるべき取組（国内）

① 国内研究開発環境の改善・国際化支援

- ・研究支援者・事務スタッフの確保
- ・研究資金の複数ルート化
- ・知財ビジネスリテラシー養成 等

② 人材育成と分野・国境を越えた循環

- ・産学官連携でのキャリアパス多様化とマッチング
- ・行政官・研究者・技術者らの海外主要大学・研究機関への戦略的送込み＝「出島」構築
- ・採用時の海外研究・国際共同研究経験の重視／必須化 等

⇒ ネットワーキング継続・国際動向把握、
有力学術誌編集委員ポスト獲得、
新興技術の国際標準・ルール策定の場合への人材送込み等に活用

③ 優秀な海外人材の呼び込み・定着

- ・積極的なファカルティ採用、成功例の積極的発信
- ・生活環境整備、待遇改善と雇用体系の柔軟化 等

外交面で進めるべき取組（国際）

① 既存の施策・取組を繋げた相乗効果の向上

- ・国際頭脳循環に重要な既存の施策・取組において活動する
研究者や技術者と在外公館との連携

⇒ ネットワークの構築・強化に向けた相乗効果

② 在外公館の利活用、科学技術アタッシェの強化

- ・企業・機関・大学を繋ぐハブ/プラットフォーム機能
- ・世界の科学技術動向把握のインテリジェンス機能
- ・在外公館科学技術担当官会議等を通じた連携・協力
- ・途上国で各種技術支援等を担う関係者間での、一体的な科学技術社会実装や成果実証の取組 等

⇒ 在外公館における体制・機能強化策として、
主要公館への科学技術フェロー（仮称）の設置を提案。

※若手・中堅の研究者等にフェローとして業務委嘱。
科技関連業務の拡充による科学技術外交の強化を図り、
頭脳循環キャリアパスになるよう待遇面等も検討。